

令和7年度 こども園（保育園）関係者評価
施設自己評価シート

園名： 矢崎おひさま保育園

【園の教育・保育目標】

・家庭を基礎に、家族・友達・保育者・地域の人々など豊かな人間関係の中で、愛される喜びを知り、他を愛することができる心を育みます。
・子どもたちの健やかな心身の発達のため、家庭と地域と協力し、様々な活動を通して一人一人を尊重し、「生きる力」を育みます。

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

・子ども一人ひとりに合ったあそびの提供、環境設定の見直しをする。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	評価	評価理由
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	・春研での学びや園内掲示等で理解を深められている。また、目標を意識した上で保育活動を行っている。 ・振り返りの中での意識付けをしながら、活動予定を立てている。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	・少人数(異年齢)保育であり、個々の成長に合わせた保育や援助を行えている。 ・異年齢保育でありながらも、年齢ごとのねらいを持った上で計画を立てている。 ・毎週の振り返りやカンファレンスの中で、保育の反省や情報共有が出来ている。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	・一人一人にじっくりと寄り添った保育を行っている。 ・散歩にたくさん出かけ、四季の移り変わりにも気づけるよう自然物あそびを楽しんだり、草花の変化や季節の生き物にも目を向けられるよう、声掛けをしたりしている。
IV. ファミリーにとっては 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ	4	・会社への発信や保護者への必要な情報の発信は、毎月のおたよりや掲示板、ブログ等を通して行っている。 ・送迎時のコミュニケーションを密に行い、いつでも話しかけやすい(相談しやすい)雰囲気づくりに努めている。
V. 地域にとっては 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように	3	・赤ちゃんサロンの発信をしているが利用が少なく、園児以外への支援があまり出ていない。 ・行事の際には会社の従業員の方にボランティアとして参加していただいております、会社とのつながりを持っています。 ・会社の中に園の活動や園児の作品を掲示をし、園の情報を発信している。
VI. スタッフにとっては 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ	4	・振り返りの時間を通して保育の振り返りや業務の見直し、職員間のコミュニケーションを図っている。 ・季節のあそびや食事を取り入れ、可能な範囲で日本の伝統を伝えている。